



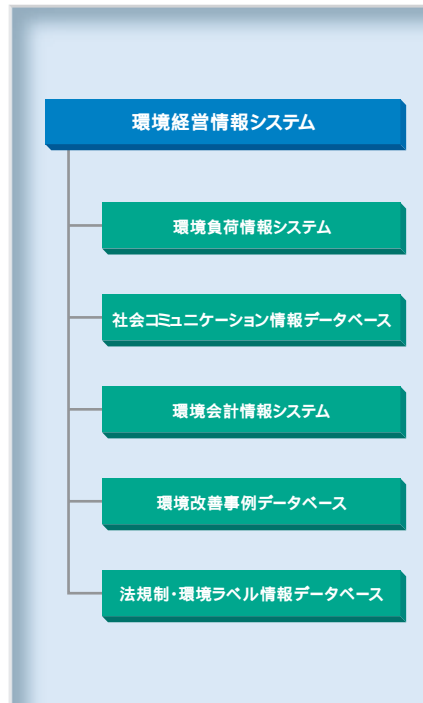
環境経営情報システム

目標と進捗状況

環境経営情報システムの構築
 環境会計、環境改善事例、法規制、環境ラベル、顧客情報の収集と発信システムを2000年度末までに構築する。

環境負荷情報システムの構築
 2000年度末までに、複写機、ファクシミリ、レーザープリンター分野の環境負荷情報システムを構築する(それ以外の分野は2001年度末までに構築)。

▶各情報システムを構築中です。環境会計については、1999年度データから経営システムとの融合ができる見通しです。環境負荷情報システムは、データとシステムの仕様がほぼ固まり、一部稼働を始めています。

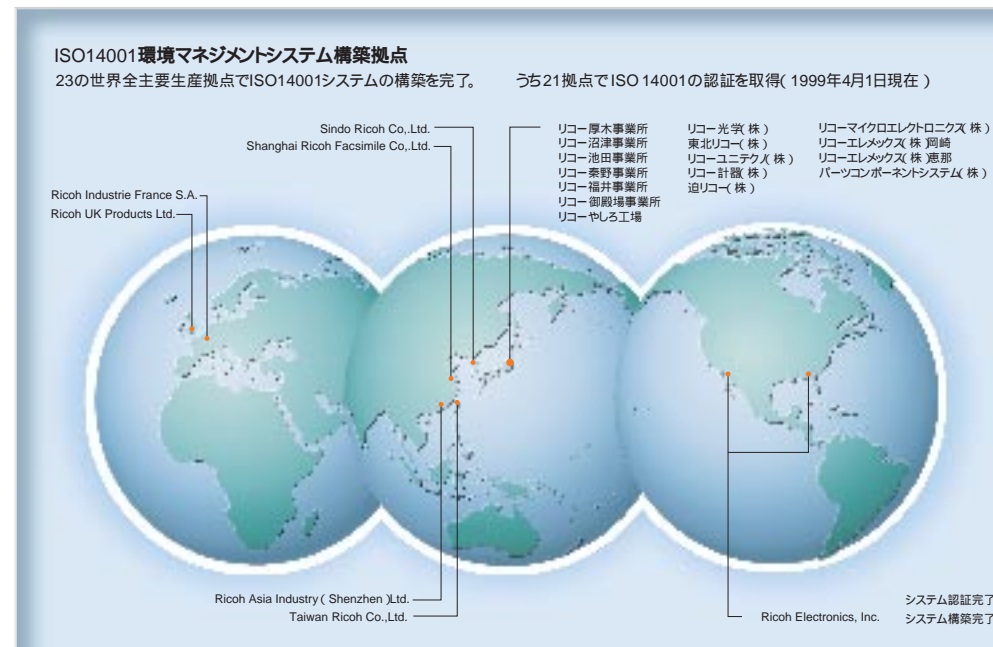


環境マネジメントシステム

目標と進捗状況

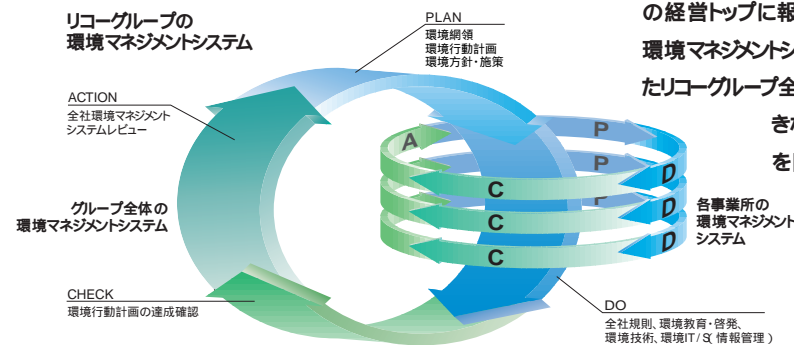
リコーは2000年9月までに、リコーグループは2001年度末までに、生産拠点に引き続き、国内外全事業拠点でISO 14001の認証を取得し、継続的な環境改善を促進する。

▶リコーの非生産系11事業所で構築中です。内部監査員の教育が終了しました。



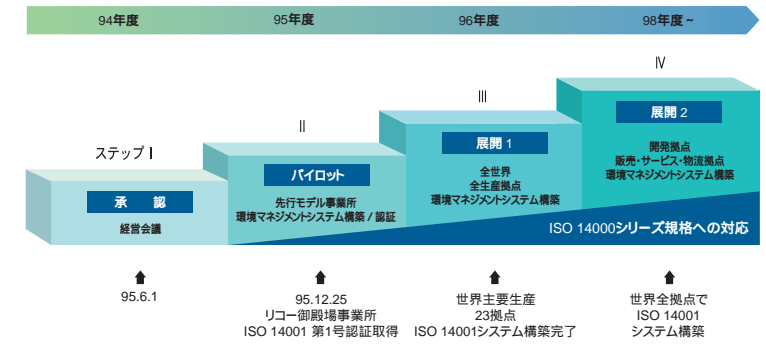
環境マネジメントシステムの構築

リコーグループは、環境保全のための体制を確立し、継続的な環境改善活動を推進していきます。そのための企業活動の基盤となるものが、環境経営システムです。環境経営システムの構築は、PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回すことによって継続的に進められます。



リコーグループの環境マネジメントシステム
 リコーグループは国際的にビジネスを展開するグローバル企業として、世界的な合意を得たISO 14001環境マネジメントシステムを尊重し、これに対応した環境経営システムを構築しています。すでに認証を取得している21生産拠点でのノウハウを水平展開しながら、2001年度末までに、オフィス系事業所でもISO14001の認証を取得する予定です。

リコーグループにおける環境マネジメントシステムの構築実績と計画



ISO/DIS 14001の国内認証機関による第1号認証取得

リコーグループは、国際的にビジネスを展開するうえでも、環境保全活動は重要であるという認識のもと、はやくからISO14001の認証取得に取り組んできました。リコーのOA機器の主力生産事業所である御殿場事業所は1995年12月、ISO/DIS14001の認証を取得。これは日本の認証機関による第1号の認証でした。



BSI QA環境管理賞を受賞

リコーUKプロダクツは、1996年7月にISO14001の認証を取得して以来、環境経営システムのレベルアップを推進してきました。その功績が認められ、1997年6月に、BSI QA環境管理賞(Environmental Management Prize)を受賞。先進的なパートナー企業管理と環境経営データベースが、英国におけるベストプラクティスと認められたためです。



パートナー企業への環境ポリシーの説明

リコーの環境保全活動が世界的に高い評価を獲得

ドイツの環境専門調査機関・エコム社が1998年に行った調査で、リコーは総合B+の評価を受け、電気・電子産業部門において対象企業11社中トップになりました。エコム社は、エコロジーの面から世界の優れた企業の格付・評価を行っている機関で、今回の調査では「環境管理システム」「環境配慮製品サービス」「環境パフォーマンスの実施状況」の3分野における総合的な評価が行われました。

